

確かに、国会の議席では少数ですが、地方（県・市町村）では、2980名の議員がいます。（平成22年11月30日現在）また、共産党員が首長の自治体は、3市9町村あります。東京都狛江市では、矢野ゆたか市長が、自民・公明から民主まで連合した相手候補との8対1の力関係をはね返し、3選を果たしています。

共産党の政策を、口ばかりで「理想論」だと言う人もいますが、共産党は、国民と草の根で結びついた力で、つねに、国民の要求・利益実現のために誠実に取り組んでいます。

国会でも、「数の力」に対して、「道理の力」で政治を動かしてきました。年金改悪法の審議では、「百年安心のウソ」を真っ先に明らかにしたのは日本共産党でした。イラクへの自衛隊派兵問題でも、政府が現地調査前に“安全”とする報告書を作っていたことを明らかにし、「共産党リード役に」と、報じられています。また、国民の暮らしを守る点でも、大きな実績をあげています。サービス残業（ただ働き）の問題では、28年前から国会で240回以上も取り上げ、政府に是正の措置をとらせ、雇用者側に、260億円の不払い残業代を払わせています。